

特集

記録と看護必要度

その監査体制・監査の取り組み

医療提供体制の質、効率をめぐる議論のなかで、看護必要度への注目がさらに高まっており、その記録と評価のあり方が問われている。本特集では、来年度の診療報酬改定に向けて、看護必要度がどのように見直されているのか、また、そのなかで現場の看護管理者がマネジメントツールとしてどのように活用するのか、その際の記録とはどのようなものなのか、監査体制をどのようにしているのかを、先進的に取り組んでいる病院による実践報告とともに紹介する。

- 診療報酬制度と記録の意味——アウトカムの評価とその根拠となる診療記録
- マネジメントツールとしての看護必要度と看護記録
- 看護必要度に必須とされる精度管理——監査に必要な記録とは
- 【実践報告1】看護必要度の監査体制のあり方
- 【実践報告2】看護必要度の監査プロセスの重要性
- 【実践報告3】看護必要度評価の担保としての記録

[SPECIAL ARTICLE]

- 医療事故の医療側当事者支援——Second Victimを防止するシステム構築の必要性

石川雅彦

編集後記

●『看護管理』編集室はピカピカの新社員を迎え、新体制となりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

●本号では2病院の意欲的な取り組みを特集としてご紹介しました。東京女子医大のクリニカルコーチ研修は、中堅看護師に、病棟内でのスタッフ教育の実践者としての新たな役割モデルを創出する試みです。結果、中堅看護師がいきいきと輝き始めたことはもちろんですが、病棟実習に訪れた看護学生たちの憧れの存在になる、という副次的効果も生んでいるそうです。主体性や気づきを引き出すクリニカルコーチたちのかかわりが、学生の目にはすごい先輩、ロールモデルとして映るようです。……中堅(中年)社員となった私ですが、コーチには程遠く、新人・笹山と二人三脚でひたすら走っていきます。(小齋)

●シェイクスピアは「この世の中はすべて舞台、男も女も皆役者」という言葉を残しました。「名舞台」と言われる舞台では多くの場合、名優1人ひとりが独自の役割を担いつつも互いに調和しています。看護や医療の現場においても、育成プログラムやモデルシステムのなかで関係者が自身の役割を認識し、連携することは、優れた舞台のような安定性を生み出すでしょう。そしてそれは看護する側、される側双方にとって大きな支えとなるはずです。

●今月号より『看護管理』の担当になりました。梅雨前線の近づく日本列島では、雨に濡れた若葉がまぶしい緑に輝いています。まだ若葉よりも未熟な私ですが、これからすくすく育ていく彼らを見習って頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。(笹山)

看護管理 第23巻第6号

2013年6月10日発行(毎月1回10日発行)

発行 株式会社医学書院

代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2013, Printed in Japan

定価 1575 円(本体 1500 円+税 5%)

2013 年年間購読料

冊子版 18450 円

冊子+電子版/個人 21450 円

冊子+電子版/共有 24300 円

電子版/個人 18450 円

電子版/共有 21300 円

(いずれも税込、送料弊社負担)

『看護管理』編集室(担当 小齋、笹山、伊藤)

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

●定期購読のお申し込み先/医学書院販売部

TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複写権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は、(株)医学書院が保有します。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された[0917-1355/13/¥250/論文/JCOPY]は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

●「読者の声」を募集しています。

職場などでの感動的なエピソード、困っている問題、また弊誌への感想をお寄せください。掲載者には粗品を差し上げます。

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

twitter http://twitter.com/kangokanri